

小金井市長期計画審議会（第9回）

日 時 令和2年1月24日（金）午後7時00分～午後8時24分

場 所 小金井市役所本庁舎第一会議室

出席委員 14人

会 長 渡 邊 嘉二郎 委員

職務代理者 竹之内 一 幸 委員

委 員 上 原 和 委員 中 村 彰 宏 委員

森 文 香 委員 柳 沢 昂 委員

柴 田 彩千子 委員 石 塚 勝 敏 委員

杉 中 清 良 委員 南 恵 子 委員

吉 田 晶 子 委員 浅 野 智 彦 委員

松 嶋 あおい 委員 住 野 英 進 委員

欠席委員 2人

高 野 博 美 委員 後 藤 広 治 委員

事務局 企画財政部長 天野 建司
企画政策課長 梅原 啓太郎
企画政策課係長 古賀 誠
企画政策課主査 東條 俊介
企画政策課主任 金原 真紀子
企画政策課主任 前坂 悟史
企画政策課主事 鎌田 莉央
株式会社創建 左近 靖博

傍聴者 0人

（午後7時00分開会）

◎渡邊会長 ただいまから第9回的小金井市長期計画審議会を開催いたします。

本日は、高野委員、後藤委員から欠席の連絡が入っておりますが、定足数については、小金井市長期計画審議会条例第5条の2項で、半数以上で成立すると定められております。現時点で16名中14名の出席でございますので、会議は既に成立しているということを、まず御報告申し上げます。

それでは、最初、事務局より配付資料の確認をお願いいたします。

◎梅原企画政策課長 それでは、資料の確認をいたします。

まず、一番上は次第でございます。次に資料一覧。その下に資料が5点ございます。まず、

資料37-2、市民懇談会開催報告書です。A4ホチキスどめになります。次に、資料39、第5次小金井市基本構想（素案）修正箇所抜粋、A4、1枚の資料です。次に、資料40、第5次小金井市前期基本計画（素案）施策頁抜粋（令和2年1月24日現在）でございます。A4ホチキスどめの少し分厚い資料になります。次に資料41、第3回起草委員会とりまとめ（目指す姿・指標）でございます。A4ホチキスどめの資料です。最後に資料42、（仮称）市民懇談会のネーミングについて、A4、1枚の資料になります。

また、資料ではございませんが、A4、1枚の用紙で、担当課への質問用紙をお配りしています。

以上になりますが、不足等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

では、進行よろしく願いいたします。

◎渡邊会長 それでは、第1の議題である第5次小金井市長期構想についてでございます。

これについて、事務局、お願いいたします。

◎梅原企画政策課長 それでは、資料37-2、市民懇談会開催報告書を御覧ください。こちらは市民懇談会の報告書につきまして、前回、第8回の審議会及び第3回の起草委員会で御議論いただいた結果を反映したものととなります。修正した箇所につきましては、網掛けで印をつけさせていただいているところになります。

前回の審議会において、いただいた御意見について基本計画で検討するという趣旨の表現を、「基本計画の策定において検討する」と御意見をいただいておりますが、起草委員会の資料では、他の表現となっていた箇所が複数ございましたので、こちらにつきましては、表現をそろえるため、全て修正をさせていただいております。この部分については、表紙の部分、それからめくっていただきまして、ナンバー11、12、次のページに行きまして、15、16、17、18、21については、「基本計画の策定において検討する」という表現に統一をさせていただいております。

最後、21番の1つ目、上のほうの網掛けにつきましては、起草委員会での御意見を踏まえまして、「表現しております」としておりましたが、「表現をしています」に変更をしています。修正箇所については以上になります。

なお、たくさん御意見をいただきましたけれども、基本構想につきましては特段、修正はなしという結論となっております。起草委員会のリーダーの方より、補足等あればお願いいたします。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

市民懇談会の報告書についてはホームページにアップするわけですがけれども、こういう格好でよろしいかということでございます。

何か御意見があれば伺って、今日、修正したいと思います。

起草委員会でも言われたかと思うんですけれども、何かございますか。私もよく見たんですけれども、文章、好みがあつて、私が直すのは多分かなり直すので、まあこれぐらいでいいと

正直思いました。どうでしょうか。こういうことで、よろしゅうございますか。

では、事務局が修正してくれた案でホームページに出すということで決めさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

◎梅原企画政策課長 それでは、事務局から続けさせていただきます。

市民懇談会の報告書につきましては、御議論、ありがとうございました。この報告書につきましては、市民懇談会の結果報告として、ホームページにて公表させていただきますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、第3回の起草委員会の御議論の結果、市民懇談会の意見とは別でございますが、基本構想の一部を修正する御意見をいただいております。資料39、第5次小金井市基本構想（素案）修正箇所抜粋を御覧いただきたいと思います。

政策の取組方針の子どもと教育の3つ目になります。生きる力の育成と学習環境の整備・充実についてです。

こちらにつきましては、もともと本市の教育目標をもとに作成をした文章となっておりますが、先日、教育委員会におきまして、教育目標の改訂があり、それを受けまして子どもと教育のグループで御議論をいただいたものでございます。その結果、作成していただいた案を掲載させていただいております。

変更後につきましては、子どもたちが活発な好奇心を持ち、創造的な課題発見・解決力を身につけるとともに、健康で人間性豊かに成長できるよう、主体的に生きる力を育みます。そのために安全で安心な学習環境の整備・充実に取り組みますとしております。

御意見等ございましたら、よろしくお願ひします。

◎渡邊会長 基本構想の教育のところの最後、生きる力の育成と学習環境の整備・充実の変更。これは市の教育目標の変更に伴う変更ですけれども、いかがでしょうか。浅野委員、何かコメントございますか。

◎浅野委員 今、御説明があったとおりです。1月4日の教育委員会で、新しい教育目標が承認されました。1月20日に私たちの起草委員会が開かれ、そこで新しい教育目標を踏まえた改正が必要かどうかを議論しまして、いろいろ議論をした上で、私が文案を作成して、皆さんに回覧して御意見を伺うということで、その場をおさめ、その後、メール等で御連絡を差し上げて、この変更案でいいのではないかということになっているところです。

◎渡邊会長 ありがとうございました。

私もちょっと見て、落ちたところが知識や教育を身につけとか、道徳心や思いやりにあふれという、これが落ちこちているわけですけれども、一番上のところで他者の思いやりという言葉が既にあるし、内容的にいいかなと。それから創造的な課題発見のためには、知識や教養が身につけていないと発見できないわけだから、内容的にはもうこれで、前の議論も全部包含しているかなと解釈して、これでいいのかなと。制度、教育目標の変更ということもありますけれども、内容的にもこれで問題ないかなと、自分自身としては納得したんですけれども、いか

がでしょうか。よろしゅうございますか。

では、今、説明がございましたように、基本構想の修正はこの委員会で認めたということにさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

そういたしますと、第5次の小金井の基本構想について、市民懇談会に出た質問に対する回答の件と子どもの教育の最後の部分の修正を委員会は認めたという結論にいたします。

◎渡邊会長 次の第5次小金井市前期基本計画についての議題に入りたいと思います。

事務局から説明お願いいたします。

◎梅原企画政策課長 まず最初に、先々週から今週にかけて、短い期間の中で起草委員会での御議論、またその後の対応をいただきまして、まことにありがとうございました。

それでは、資料40、第5次小金井市前期基本計画（素案）（令和2年1月24日現在）を御覧ください。こちらにつきましては、基本計画の素案について、起草委員会で御議論いただいた内容を修正したものになっております。

次に資料41、第3回起草委員会とりまとめ（目指す姿・指標）を御覧ください。こちらは今回御議論いただきました目指す姿と指標を施策ごとに抜き出しまして一覧にまとめているものでございます。

なお、前回の審議会におきまして、前期基本計画の施策以外の箇所につきましても、本日お示しすると申し上げたんですが、大変申し訳ございませんが、詳細な内容につきまして現在作成中となっておりますので、後日、お示しをさせていただきたいと思います。

それでは、資料41、第3回起草委員会とりまとめを見ながら説明をさせていただきます。資料41を御覧ください。また、基本計画の文案につきましては、資料40をあわせて見ていただければと思います。

資料41では、修正箇所につきましては、下線を引いております。文案のほうでは色をつけて表現しております。

本日は第3回起草委員会において、各グループで御審議いただいた目指す姿、それから指標につきまして、各グループでの御議論の結果を皆さんで確認いただきたいと思います。起草委員会では、それ以外の現状、課題、施策の方向性への御意見も一部いただき、各グループとリーダー調整の上、文案の修正もさせていただいておりますが、この部分は次回以降の起草委員会で今後さらに御議論いただく箇所となりますので、本日は説明は割愛させていただきます。

それでは、資料41、一番上の環境と都市基盤から順に見ていきたいと思います。

施策1から4につきましては、目指す姿、指標の修正はございません。

資料40、文案の6ページを御覧いただきたいと思います。施策2、循環型社会の形成になります。こちらにつきまして、目指す姿に3Rの注釈をつけてはどうかという御意見がございました。こちらにつきましては、目指す姿についてはそのままとさせていただき、このページの一番下、3Rとはということで、ここにイラストの入った説明を入れさせていただくことで

対応したいと考えております。

それでは、資料4-1にお戻りください。施策5、住環境の整備になります。こちらの目指す姿につきまして、「良質な住環境整備を図る」という表現をしておりましたが、この部分を下線が引いてあります「住み心地のよいまちにします」という表現に変更をしております。

下に行きまして、施策6につきましては、修正はございません。

次に施策7、交通環境の整備になります。こちらの目指す姿につきまして、「交通環境を実現」という表現をしておりましたが、その部分を「人が行き交うまちにします」と改めております。

それでは、1ページおめくりいただきまして、地域と経済になります。施策8、防災体制の整備でございます。こちらの目指す姿につきましては、大きく修正しております。もとの案を読み上げさせていただきますと、「地域における災害の予防対策、応急・復旧対策及び復興対策を実施することにより、私たちの生命、身体及び財産を保護するとともに、災害に強いまちを目指します」としておりましたが、こちらに表記しておりますとおり、「私たち一人ひとりが災害に備え、互いに助け合うことのできる「人の輪」をつなげ、災害に強いまちを目指します」としております。

右に行きまして、指標につきましては、指標の一番下になりますが、修正前は「地域の防災訓練の参加率」としておりましたが、訓練の頻度につきましても記載する形にしておりまして、また「地域」という表現は削除しております。その結果、「直近1年間で防災訓練に参加したことがある市民の割合」としております。

次の施策9は修正はございません。

施策10、産業・観光の振興になります。こちらの目指す姿につきまして、「市民力による」としておりましたが、「市民力あふれる」と改めております。また、「付加価値を創出し、成長する」としておりましたが、「付加価値を高め、継続的に育てる」という表現に修正をしています。

続きまして、施策11、都市農業の振興になります。こちらは目指す姿につきまして、「農地の有効活用と、農地の多面的機能の実現」という表現をしておりましたが、「農地の有効活用を図り、適正に保全することにより、都市と農地が共存し、市民生活を豊かにする力強い小金井農業を目指します」としております。

また、こちらの指標につきましては、修正前は「地場産農産物を購入したことがある」としておりましたが、こちらは頻度と小金井市産であることを明確化しまして、「これまでに小金井市産農産物を購入したことがある市民の割合」としております。

続いて、子どもと教育になります。施策12は修正はございません。

施策13、子育て家庭の支援です。目指す姿の冒頭になります。「社会全体で子育て家庭を支える施設、体制を確保して」としておりましたが、「社会全体で子育て家庭を支えます。そのための支える施設、体制を確保して」と改めております。

こちらの指標につきましては、1つ目の上の指標におきまして、「子育てがしやすい地域である」としておりましたが、「子育て家庭への支援が充実している」と思う市民の割合と修正をしております。また、その下の指標につきましては、「妊娠・出産・子育ての不安や悩みを」の後に「周囲の人々や行政の窓口に」という部分を追加しております。

次に施策14、子育て・子育て環境の充実です。こちらの目指す姿で、1行目に「地域環境」とございますが、この前に「交流、活動拠点、ネットワーク形成など」という言葉が入っていたものを削除しております。

次に施策15、学校教育の充実でございます。

1行目、「計画的に推進し」の後に続きまして、「子どもたちが幅広い知性と教養を身につけるとともに、道徳心にあふれ」という表現をしておりましたが、「一人一人の子どもが未来を創造する当事者として、活発な好奇心をもち、創造的な課題発見・解決力を身につけるとともに」と修正しております。

施策16につきましては、修正はございません。

続きまして、文化と生涯学習。施策17、芸術文化の振興になります。

こちらの指標につきましては、修正前は「本市の芸術文化事業に参加したことがあるまたは知っている市民の割合」としておりましたが、「直近1年間で芸術文化の鑑賞や体験の機会を得たことがある市民の割合」と修正しております。

次に施策18、国際交流・都市間交流の推進でございます。

まず、施策の名称も含めまして、「都市交流」としておりましたが、「都市間交流」に修正をしております。こちらの指標につきましては、「国際交流、都市間交流をした経験がある市民の割合」としていたところ、「直近1年間で異文化に触れる機会が増えたと思う市民の割合」と修正しております。

次に施策19、人権・平和・男女共同参画の尊重でございます。

目指す姿の冒頭で、「平和の大切さ、命の尊さ」としていた部分につきましては、「人権や平和に対する意識や」の冒頭を変えまして、「男女が互いに認め支え合う意識を高めることで」とつながる形に修正をしております。

次に施策20、生涯学習の振興でございます。

こちらの指標につきまして、直近1年間の後に、「で」を追加しております。「1年間『で』生涯学習を実勢している」という内容に変更しております。こちらの指標につきましては、事務局から案をお示しさせていただきたいと思っておりますので、そちらにつきましても後ほど御検討をお願いしたいと思います。直近1年間の間に、1度でも生涯学習を行っていただければ該当するということを明確にすることと、他の指標との表現の整合を考慮しまして、事務局では、「直近1年間で生涯学習を実践したことがある市民の割合」としてはどうかと考えております。後ほど、御意見をお願いいたします。

続きまして、施策21、スポーツの振興でございます。

こちらはもともと指標が1つでございましたが、2つ目の指標として、スポーツ施設の稼働率を追加しております。

続きまして、福祉と健康の施策22、福祉のまちづくりの推進でございます。

こちらの目指す姿の中段になります。「全ての人々が支え合う体制・環境」であります、体制と環境をつなぐところが、もともとは読点を入れておりましたが、協議しておりますようにナカグロに修正をしております。

こちらの指標につきましては、上の指標につきまして、「地域で助け合う関係性が構築できている」という表現をしておりましたが、「困ったときに地域で助け合える関係性を持っている」市民の割合と修正をしております。

おめくりいただきまして、施策23、高齢者の生きがいの充実でございます。こちらについては、起草委員会での修正はございませんでしたが、他の指標と表現の整合をとりまして、「直近1年間、社会運動・ボランティア活動に参加している」というところを、「直近1年間で社会活動・ボランティア活動に参加したことがある」としてはどうかと、こちらも事務局案ということでお示しさせていただきたいと思っております。後ほど、御意見をお願いいたします。

施策24につきましては、修正はございません。

続きまして、施策25、障がい者福祉の充実です。

こちらの目指す姿につきまして、冒頭、「障がい者の生活、就労、地域における交流の支援」としておりましたが、「障がい者の生活・就労支援、地域における交流の場を設けることの支援」を通じてとしております。

次に施策26、健康の維持・推進でございます。

目指す姿につきましては、1行目の「正しい情報の普及と啓発」としておりましたが、「正しい情報の普及と共有」と修正をしております。

こちら指標につきましては、2つ目の指標になりますけれども、修正前は「バランスのとれた食事をしている」としておりましたが、「主食・主菜・副菜がそろっている栄養バランスのとれた食事をしている」市民の割合としております。こちらにつきましても、事務局から検討をお願いしたい点がございます。こちらにつきましては、アンケートの回答者の方の答えやすさも考慮しまして、「主食・主菜・副菜がそろっている栄養バランスのとれた食事に気をつけている」としてはどうかと考えております。こちらについても、御意見をいただきたいと思います。

また、修正前は「かかりつけ医のいる人の割合」、「かかりつけ歯科医のいる人の割合」という指標がございましたが、こちらは削除いたしまして、記載しております「定期的に地域・職場などの健康診断を受けている市民の割合」という指標に変更しております。

続きまして、行政運営になります。施策27、市民参加・協働の推進でございます。

指標の1つ目につきましては、「みんなでまちづくりをしている」と感じている市民の割合としておりましたが、「地域課題の解決に向けて、市民もまちづくりに参加していると思う市

民の割合」と修正しております。また、その下の指標につきましては、「直近1年間で」という部分を追加しております。

次に施策28、積極的な情報発信でございます。

こちらの指標につきましては、修正内容はホームページに載るのについて、アルファベットで「HP」と記載しておりましたが、他と表記を合わせまして片仮名でホームページとしております。

施策29は修正はございません。

修正箇所については以上になります。アンケートで確認する指標につきましては、本日御承認いただいた後、速やかにアンケートを実施する必要がある場合がございますので、変更がある場合には、本日中に結論を出していただく必要がある場合がございますので、よろしくお願いいたします。

また、環境と都市基盤の起草委員会の中で、目指す姿につきまして、何々することで何々しますといった表現で、現在、統一をしておりますが、最後の部分を何々しますという形ではなくて、何々のまちというふうに体言どめで終わるほうが、目指す姿ということからするとふさわしいのではないかと御意見をいただいております。先ほど説明いたしました修正点に加えまして、目指す姿のこの書き方の部分についても、体言どめで終わる形にするかどうか、御意見をいただければと思っております。この体言どめにする場合、施策13や施策28のように、目指す姿が2つの文に分かれて要素を盛り込んでいるもの、また目指すものが複数あるという施策もありますので、かなり表現を修正する必要がある場合も考えられますので、慎重に御検討いただきたいと思いますと思っております。

なお、指標につきまして、前回の長期計画審議会で、第4次と第5次の対照表があるとよいという御意見をいただいております。見比べていきますと、結果として第4次と5次の指標が同じものも数件はございますが、起草委員会で御説明いたしましたとおり、第4次と第5次では施策の分け方、指標の考え方の部分が異なっておりますので、なかなか並べてお見せできるような作りになっていないことから、この資料については申し訳ございませんが、作成するのが難しいということで御了承をいただければと思います。

それでは、起草委員会の修正点につきまして、また目指す姿を体言どめにするかにつきまして、御意見等お願いいたします。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

変更点は3点あったと思うんですけども、起草委員会で変更した点と、目指す姿のところを体言どめにしたらどうかということがございます。それから事務局がちょっと直してくれていたりというのがあると思うんですけども、起草委員会で十分検討されての御提案だと思うんですが、どうでしょう。それぞれの起草委員会のリーダーの方、何かコメントございますか。

上原委員。

◎上原委員 私は体言どめのほうがいいんじゃないかなと思います。

◎渡邊会長 そうですね。内容的にはよろしいでしょうか。

◎上原委員 内容は、問題ありません。

◎渡邊会長 他のリーダー、竹之内委員いかがですか。

◎竹之内委員 特に補足するようなことはありません。

◎渡邊会長 リーダーの浅野委員はいかがですか。

◎浅野委員 1点、これは施策12については、ここでは特に触れる必要はありますか。

◎古賀企画政策課係長 その点については、事務局から補足で説明をさせていただきます。

施策12に関してなんですけれども、目指す姿というところで、この間、担当課から原案をお示しさせていただきまして、起草委員会で議論をしていただいたところです。起草委員会で御議論をいただいた後、改めて担当課に修正案を最終確認させていただいたところなんですけれども、ここで新たに新しい案が担当課からお示されたというところで、申し訳ないのですが、こちらの施策12に関しましては次回以降の起草委員会で再度御議論いただきたいというところで、今日に限りましては、別扱いということで、次回の起草委員会に先送りということにさせていただければと思いますので、よろしくお願いします。

◎渡邊会長 目指す姿だけですね。

◎古賀企画政策課係長 はい、目指す姿のみになります。

◎渡邊会長 これにかかわるアンケートのところではこれで問題ないですか。

◎浅野委員 はい。

◎渡邊会長 起草委員会でいろいろ検討していただいて、こんな修正が出てきたということですけれども、いかがでしょうか。この審議会で最終的に決定することになると思うので、こういう修正で何か御異論ございませんか。ただ、先ほど言いましたように、12については再度検討して、これはペンディングになっているものです。

よろしゅうございますか。

◎浅野委員 目指す姿のほうについては、私もこれでいいのかなと考えています。他方、指標についてなんですけれども、幾つか注視すべき点があるかなと思っているので、そのことについてお話をさせていただきます。

1つは多くのアンケート項目がどう思っているかというところにフォーカスしていると思うんです。それでいい項目もあるとは思いますが、どう思っているかではなくて、どのぐらい何かをしているかという行動形式で聞いたほうがよい項目もあるのかなと思うわけです。例えば、施策27の市民参加・協働の推進において、指標の2点目は、地域活動に参加したことのある市民の割合を尋ねていて、これは行動を尋ねています。私はこれは正しい聞き方だと思います。他方で、施策14、これは我々が担当したところで、こちらでは地域で子どもに関係するイベントが活発に行われていると思う市民の割合にしているんです。ここについては、一旦我々としては、行動項目でもいいのではないかというコメントを出したところ、担当課からは、それだと参加者数があまりにも少ないので、指標として使えないというお答えが返ってきているわけです。でも、市民意向調査の数字を検討すると、実は施策27の地域活動への参

加もさほど高い数字はおそらく出ないのではないかと思うので、例えばこのあたりで活発に行われていると思うかという聞き方と実際にどのぐらい参加しているのかと行動形式で聞くのと、どちらがよいのかという問題が顕在化するのかなという感じがいたします。

もう1点として、例えばのことなんですけれども、施策25、障がい者福祉の充実のところの指標で、障害のある人もない人も共に暮らしやすい地域であると思う市民の割合が、アンケートで尋ねられることになっているんですが、もちろん差別解消条例とのかかわり合いでこういう文言を使うことは悪いとは思わないですけれども、こう尋ねられて多くの人が答えられるのかなということがあると同時に、より重要なのは、この問いが第一義的に重要な意味を持つのは障害のある方だろうと思うんですね。ですから当事者に尋ねた数字を指標に使ったほうがいいのではないかと思うわけです。同じようなことがほかのところでも言えるんじゃないかと思うんです。例えば学校施設に関係する施策16、指標の1つ目、子どもが義務教育を受ける環境として学校施設が充実していると思う市民の割合と。例えばこれは子どもがいない、あるいは子育てが終わって随分たつとといった方々も同じように答えるわけなんですけれども、実際には市内で児童・生徒に当たる年齢層のお子さんを持っていらっしゃる保護者こそがこれに対して最も正当に答える権利を持っているというところがあると思うんです。ただ、これも本当はやはり当事者に、児童・生徒に聞いてみるといいんじゃないかと思うんです。トイレに関しては、実際、生徒のほうから声が上がって改善されたという事例が実はあり、当事者という意味では児童・生徒に聞いてみるという手もありますけれども、そこまでいなくても、保護者をまずは第一義的には指標のために何かを聞く対象として考えるべきだと思います。こういったように当事者に聞いたほうが本当はいいんじゃないかと思う項目が幾つか含まれていて、一応、担当課からのお返事としては、25番の施策に関しては、これは当事者にもたしかアンケートをするんだという話でしたが、それは指標に組み込まれないということだろうと思いますので、アンケートをするが、指標には組み込まないというのも、ややもったいないのかなと思うところがあります。

結果として、この案のとおりになってしまっても、私としては特にものすごくまずいなとは思わないですけれども、ただ、その辺が気になりましたので、一応せっかくの機会ですので、私の思った違和感を説明させていただきました。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

今の御質問はアンケートの思いという主観的なものを客観的な何かであらわす表現がいいんじゃないかということと、アンケートの対象を当事者にしたほうがいいんじゃないかという、アンケートのとり方の2つあったかと思うんですけれども、最後のほうでこれでもいいかもしれないということですが、せっかくですから、1カ所でも2カ所でもこうやったほうがいいというところがあったら、修正したほうがいいと思うんですけれども、いかがですか。事務局から何かありませんか。まずそれができるかどうかかわからないですか。

◎古賀企画政策課係長 事務局から補足させていただいてよろしいですか。

先ほど浅野委員からいろいろと御指摘いただいたところで、こちらの25番の障がい者にフォーカスしたアンケートというところで、我々の福祉と健康のグループの方々には事前にメールでお送りはさせていただいているところなんですけれども、全ての方に情報共有というところで、報告をさせていただきます。

こちら、25番の障がい者にフォーカスしたアンケート調査は、担当課に確認したところ、こちら障害福祉計画の策定並びに改定のタイミングでアンケート調査を実施するというところであったんですけれども、こちらいわゆる改定のタイミングでということになりまして、毎年行うアンケート調査ではないので、我々のほうがこれから毎年進捗を確認していく上では、そのアンケート調査があくまでアンケートをとったタイミングになってしまいますので、毎年の数値結果としてとれないというところで整理させていただいているということになります。

◎**渡邊会長** どうでしょうか。浅野委員がせっかく御意見を言われているわけだから、運用のところ少し事務局で考えていただくということではいかがでしょうか。

◎**浅野委員** それで結構です。それで、1点だけ念のためということなんですけれども、施策27と施策14、どちらもイベントに参加するという事柄にかかわるアンケートで、片方は参加行動について尋ね、片方はそれが活発かという印象について尋ねているんです。これは担当課が違うので、厳密に言えば説明に整合性を欠くというわけではないんですけれども、我々が担当する領域の所管の担当課からは、参加者があまりにも少ないので指標としては使えないと言われております。ということは、これは逆に言うと、27番の施策に係る担当課からはこれは十分な数が確保できるとお考えになっていらっしゃるということなのかということだけちょっとお尋ねしたいです。

これには施策14と施策27の整合性の問題と申しますか、担当課が違いますので、担当課が違えば感じ方も異なりますので、厳密に言えば整合性がないわけでもないんですけれども、単純に言うと参加している人の数が少な過ぎるので、指標には使えないという説明が一方ではあったのにもかかわらず、他方では同じような行動項目を指標に使うということであるのならば、行動項目を指標に使うサイドの担当課は十分に参加者がいるという見込みを立てているということなのかを伺いたいという意味です。

◎**渡邊会長** いかがですか。

◎**梅原企画政策課長** 事務局です。まず、施策27です。直近1年間でのほうですが、こちらにつきましては、十分な参加者が得られるかどうかとかということについては、市民意向調査でこれに近い質問をしております、一定の結果も得られているということで、こちらについては特段の問題はないかなと考えております。

子どものほうにつきましても、担当課ともやりとりしている中で、先ほどのような懸念はあったんですけれども、指標そのものを変えることについては特段問題がないということも同時に確認しているということですので、こちらについてはこちらの長計審の中で扱いを決めていただきましたら、その旨、担当課に伝えてまいりたいと思います。

◎渡邊会長 そうすると、これは文意を変えますか。どうでしょうか。

◎浅野委員 確認したかっただけですので、これを変えてくださいというものではありません。一応、その話はもうそういう方との間の協議で私としても承知していることですので。ただ、今、ここで27番の話が出てきましたので、その関係を確認したかっただけですので、今のお答えで、27番のほうの市民参加は4割とかそのぐらいですかね。意向調査のほうといろいろ合わせて6割ぐらいが何も参加していないという感じだったかなと思いますけれども。一応ある程度の指標に使える程度の数値は確保されているという御判断だということですよ。それはそれで了解しました。

それで、ここで特段アンケート項目の内容を変えていただきたいということではありませんので、さっき渡邊会長がおっしゃってくださったように、運用上の御配慮を今後いただければありがたいです。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

今の件、御意見いろいろあったと思いますので、この意見を生かすような格好で、運用上で事務局で検討していただくということによろしゅうございますか。

ありがとうございました。

◎浅野委員 ありがとうございます。

◎渡邊会長 それから、事務局でちょっと修正したというのが施策20で、これは「で」を入れたんですね。

◎梅原企画政策課長 「で」を入れることで、実践したことがあるという表現としてはどうかということになります。直近1年間で、生涯学習を実践したことがある市民の割合としてはどうかという意見でございます。

◎渡邊会長 これは何というのか、正確に変えるということですね。ここの「している」というところを、「したことがある」と修正したいという御提案です。

どうですか、これは。それでいいですね。

次が23番で、直近1年間で、「で」を入れるんですか。

◎梅原企画政策課長 こちらにつきましては、「で」を入れて、こちらにも参加したことがあるということですか。

◎渡邊会長 参加したことがあると。これも先ほどと同じような格好で直したいということですね。いかがですか、これは。よろしいですね。

26番のところ、アンケートの2番目の食事。「バランスのとれた食事をしている市民」を、「バランスのとれた食事に気をつけている市民の割合」と訂正したいという。

◎梅原企画政策課長 はい。そういう文型になります。

◎渡邊会長 いかがですか。気をつけているというほうがいいですね。

では、ここは気をつけているということによろしゅうございますね。

アンケートの件は、先ほど委員からいろいろ出ましたので、それを配慮して運用上できちっ

とやっていただくということにする。

最後に体言どめの件ですけれども、資料40で、どこでもいいんですけれども、例えば4ページを見ていただくと、目指す姿のところ、目指す姿とあって、最後、将来世代に誇れるまちを目指しますとずっとあるんですけれども、目指す姿と言っているんだから、誇れるまちでとめてはどうかという意見が我々の起草委員会で出ました。同じように、次の施策2のところ、これは小金井市自身がまちだから、ごみゼロタウン小金井市でとめる。それから、8ページのところ、環境にやさしいまちを目指しますの目指しますがなくて、まちでとめてはどうか。ただ、例えば施策13や施策28は注意しなくてははいけない。

施策13でいくと、子育て家庭を支えます、実感できるようにしますというのを今までどおりにはいかないので、ここはちょっと考えなきゃいけないということなんですけれども、こういう施策13とかいうのはちょっと考えてもらうとして、まず、全体として何とかのまちと体言どめみたいな格好の表記というのはいかがでしょうか。目指す、目指すってみんなあって、また目指すというのも何かうっとうしいかなと思ひまして、文章上、そういう意味ではちょっと工夫してもらわなきゃいけないとか、今ここでどうするというのはいかなかなか議論できないと思って、事務局でそういうところをちょっと検討してもらって提案していただくということで、体言どめでやるということで、皆さんいかがですか。

よろしゅうございますか。じゃあ、体言どめという格好で、目指す方向を表記することにしたと思います。

そうすると、目指す姿、指標について、一応の議論が終わりまして、アンケートについては今日の結論をもってアンケート調査を実施しますので、浅野委員から先ほどいろいろ御意見が出た点については、運用上で対応していただくということで、文章としてはこのままにさせていただきます。

それでは目指す姿、指標について、この形で素案として一旦まとめたいと思います。事務局からアンケートについて簡単に説明をお願いいたします。

◎梅原企画政策課長 御議論ありがとうございました。

本日の内容につきまして、目指す姿、指標につきましてまとめさせていただき、次回以降の起草委員会にて、修正した基本計画素案を提示させていただきます。また、目指す姿の体言どめへの変更につきましては、一旦、事務局で修正案を作らせていただきまして、これも起草委員会でお示しさせていただいて、また御意見をいただきたいと思ひます。

なお、今回で決めさせていただきました目指す姿と指標につきましては、現時点の基本計画の素案として一旦確定をさせていただきますが、アンケートで利用する指標以外の箇所につきましては、アンケート指標に影響が出ない範囲であればその範囲の変更についてはできないというわけではございませんので、今後、いろいろ御検討いただく中で、課題や施策の方向性といったことも踏まえて、少し直したほうが良いということがありましたら、起草委員会で御議論いただきたいと思ひます。

また、アンケートについてでございます。本日、御確認いただきました指標のうち、アンケートで指標をとるものにつきましては、早急に作業を進め、来週月曜日には校了をして、翻訳・印刷等を経まして、2月14日付で発送をする予定を考えております。その後、3月上旬までに受け付けました回答を集約し、3月下旬に結果が出る見込みとなっております。委員の皆様にはアンケート用紙につきましても情報提供をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

そうしますと、第2の議題、第5次小金井市前期基本計画についての議論をこれで終わりたいと思っておりますが、よろしゅうございますか。

◎渡邊会長 それでは次第、第3で、次回以降の開催日ということで、事務局でお願いいたします。

◎梅原企画政策課長 次回以降の日程でございます。今回は第4回の起草委員会となります。

「環境と都市基盤、地域と経済」のグループにつきましては、2月17日、前原暫定集会施設C会議室で行います。

「子どもと教育、福祉と健康」のグループは、2月5日（水）18時30分から市役所の第2庁舎601会議室で開催いたします。

「文化と生涯学習、行政運営」のグループは、2月7日（金）18時30分から第2庁舎601会議室となります。

第4回それから第5回の起草委員会では、基本計画の目指す姿と指標以外の部分につきまして、御議論を進めていただくこととなりますが、それぞれ関連する職員、主に課長職になりますけれども、会議に出席しまして質問等を受けられる体制を予定しております。そのときに1点、お願いがございまして、できるだけ効率よく進めていくために、可能な範囲で結構ですので、各担当課等に聞きたい御質問などありましたら、事前にお伺いをできればと思います。もちろんその場で事前に聞いていなくても質問をいただくことは全然構いません。

本日資料と一緒に担当課への質問用紙を配付させていただいておりますので、事前にそちらに御記入いただける場合には、そちらに入れていただきたいと思います。こちらについては来週末、2月2日（日）までに事務局に御提出をしていただきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

次回以降の予定ですけれども、起草委員会で担当課の課長さん、職員の方が出てきてくださるということなので、この書類で質問事項を出しておく、あるいは事前に少し読んでいただいて、できれば勉強していただいて、効率のいい議論ができるようにとお願いいたしたいと思っております。

次回以降の日程についてはよろしゅうございますね。ありがとうございます。

◎**渡邊会長** その他でございます。事務のほうで何かございますか。

◎**梅原企画政策課長** それでは、5月に開催を予定しております（仮称）市民懇談会のネーミング案についてでございますが、先日メールで募集させていただいております、幾つか案をいただいております。本日、この場でネーミングについて決めていただきたいと思いますと思っております。

資料41、（仮称）市民懇談会のネーミングについてを御覧いただきたいと思います。（仮称）市民懇談会につきましては、日程調整を既にさせていただいております、5月22日（金）と23日（土）で開催を考えているところでございます。場所につきましては、また決まった段階で御連絡させていただきます。

下段にいただいた案に事務局案をあわせて掲載させていただいております。いただきました3つのネーミング案をまず読み上げさせていただきます。

1番、「こがねいの“金（近）”未来創造ミーティング」。2番、「まちづくり あなたの夢を 声にして!」。3番、「小金井のこと、みんなで話そう!」。4番、「小金井みらい会議」。5番、「Koganei TYL~Ten Years Later~」。6番、「明日の小金井検討会」と、事務局のものも含めまして、6つ掲載させていただいております。

それで、ちょっと我々からうまく伝えられない部分があったかもしれませんが、何々会議とかというよりもキャッチコピー的な御意見もいただいております。この場ではまずこの市民懇談会の会議の名称を決めていただきたいと思いますので、その点についても御理解を賜りたいと思っております。キャッチコピー的なものについては、また別の使い方もできるのかなと思っております。

そして、先ほどの指標の現状値をはかるためのアンケートを発送する中で、この（仮称）市民懇談会の御案内も掲載していく予定としております。その際にはこのネーミングについても本日決めていただいたものを入れていきたいと思っておりますので、本日、この名称を決めていただくように、よろしく願いいたします。

◎**渡邊会長** 大変ですね。名称を決めなきゃいけない。アンケートに出すということですから、今日決めなきゃいけないということです。

何かどうやったらいいか、事務局で決め方のアイデアはありますか。

◎**梅原企画政策課長** 事務局といたしましては、皆さんお1人ずつよいものを2つぐらい選んでいただいて挙手をしていただく形で決めさせていただければと思っておりますが、何か御意見等ございましたら、お願いしたいと思います。

◎**渡邊会長** そうですね。多数決がが一番いいですね。今の事務局の決め方のアイデアですけれども、それぞれ1、2、3、4、5、6とあって、自分がいいなと思う点、2個について、手を挙げていただいて、一番多かったのが何かをネームにすると。そもそもこのネーミングは市民懇談会の前のやつがかた過ぎて、これじゃ市民、来ないよということで、この議論になっ

たので、提案された方の何かコメントはありますか。どなたがどれだかわからないので、それはやらないほうがいいのか。

◎杉中委員 ここで言うと2と3がキャッチコピーですよね。あとは会議名称になっていますけれども、そこをどうするのか。キャッチコピーはもう外すとかいうふうに整理をしたほうがいいんじゃないでしょうか。

◎渡邊会長 キャッチコピーを。逆にタイトルとキャッチコピー、2つでということもあり得ると思う。

◎杉中委員 そのほうがいいかなという感じもします。

◎渡邊会長 それはちょっと2つぐらい選んでもらって、組み合わせを事務局に考えてもらったらどうかと思うんですけども、いかがですか。

◎梅原企画政策課長 少し考える時間がもし必要でしたら時間をとらせていただきますけれども、すぐ始めても大丈夫そうでしょうか。

◎中村委員 ちょっとよろしいですか。今の杉中委員の御意見を尊重して、会議体の名前だけであれば、2、3を省く1、4、5、6となるわけですね。で、キャッチコピーであれば、2と3から選ぶ。そういう切り分けにしたほうが事務局のお考えに沿った形になるんじゃないかなと思うんです。ですから初めに全部6つをやるんじゃないしに、2つと4つに切り分けたほうがいいですね。

◎渡邊会長 わかりました。ありがとうございます。

◎上原委員 5番はキャッチコピーじゃないですか。

◎渡邊会長 2、3はどっちかというキャッチコピーというのをサブタイトルの的に使えそうだと。で、1、4、5、6は会議体の名前に近いということですか。例えば「小金井みらい会議」を会議名にして、キャッチコピーとして、「まちづくり あなたの夢を 声にして!」という感じにすると、何か収まるという感じですよ。例えばですよ、今言ったのは。こうしてくださいという意味じゃないです。

そして今、中村委員からの提案がございましたので、会議体の名前として、1、4、5、6にして、キャッチコピーとして、2、3とまず分けて。

◎竹之内委員 上原委員が言っていたように、5番はどう見ても会議体名称じゃないですよ。小金井の10年後を考えようですから、日本語に直せば。

◎上原委員 副題がみたいなのもうついちゃってるし。

◎梅原企画政策課長 ちょっと後段がついてしまっているんですけども、一応、事務局案としては、Koganei TYL ということで、会議の名前というつもりでは出させていただきます。

◎渡邊会長 これは会議の名前じゃないとすると、キャッチコピーですか。

◎竹之内委員 要するにもうでき上がっているの、セットで。会議名とキャッチコピー。これはもうでき上がっているものですよ。だから3パターンがあるということになります。

◎渡邊会長 そうか。困ったな。

◎上原委員 あまり深く考えず、2つ挙手しますか。

◎渡邊会長 そうでしょうか。それで、とにかく2、3がキャッチコピー的なものであるというのと、5は両方入っている。1、4、6は会議体の名前である。で、キャッチコピーと会議体をくっつけるという格好でまとめていただくということにして、中村委員からのお話もありましたけれども、3つあるとどうしようもないので、まとめて1、2、3、4、5、6でいいと思うのを2回だけ手を挙げていただいて、うまい組み合わせを考えていただくということで、これはどうでもいいかということはどうでもよくない。どうでもいいんですけども時間の節約もありますので、じゃあ挙手をお願いします。

1番、いいと思う方、手を挙げてください。0名。

2番、いいと思う方、手を挙げてください。数えてください。

◎梅原企画政策課長 11名です。

◎渡邊会長 3番、いいと思う方、手を挙げてください。0名。

4番、いいと思う方、手を挙げてください。

◎梅原企画政策課長 11名です。

◎渡邊会長 5番、いいと思う方、手を挙げてください。

◎梅原企画政策課長 1名です。

6番、いいと思う方、手を挙げてください。4名。

ありがとうございました。

◎渡邊会長 そうすると、2と4で、2が会議名で4がキャッチコピーです。そんな感じですかね。では、そういうことで決めさせていただきたい。

それでよろしいですか。

◎梅原企画政策課長 結構です。

◎渡邊会長 ありがとうございました。

では、ネーミングは、会議体の名前としては「小金井みらい会議」、キャッチコピーとしては「まちづくり あなたの夢を 声にして!」ということにさせていただきたいと思います。

事務局、そのほか何かございますか。

◎梅原企画政策課長 その他、もう特にございません。

◎渡邊会長 事務局で用意していただいた議題は以上だそうでございます。

委員から何かございますか。

◎竹之内委員 ちょっと先走った発言になって恐縮なんですけど、先ほど、目指す姿を「まち」の体言どめにしたわけですけども、課題というところに必要です、必要です、求められますと書いてあるんですけど、実は、これは書き直せば、「が課題です」になりませんか。そうすると、もうこれは今の方向性でいくと、体言どめになりそうじゃないかと思っていて、それだったら直さなくてもいいんですけども、多分そういう道筋をたどるのではないかなと思ってい

ますというちょっとした意見です。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

いずれにしろ、市民がぱっと見たときに、すっと頭に入るような表現がいいと思うんですね。そのためにはあまり長ったらしくないすっきりした表現のほうがいいと思うので、今後、その件もまた議論させていただければと思います。

ほかにございますか。お願いします。

◎柴田委員 もちろん、お示ししていただいたそれには賛成なんですけれども、アンケートをもうすぐ発送して実施するということですが、起草委員会のときにも希望を出したんですが、資料41の、例えば20番の生涯学習を実践したことがある市民の割合や、27番の地域活動に参加したことがある市民の割合を問う項目がありますが、ここで示す生涯学習とは具体的にどういう活動なのかとか、地域活動とは例えばどういう活動なのかということを、注でわかりやすく、例えば地域活動にPTAが含まれるか、含まれないかとか、いろいろ迷う方もいらっしゃると思うので、そういう注釈をつけていただきたいと思います。

もう1点なんですけれども。

◎梅原企画政策課長 今、お話のありましたように、説明がないと中身がわかりづらいものにつきましては、注釈をつける形で対応してまいりたいと思います。

◎柴田委員 ありがとうございます。

もう1点なんです、集計をされるときに、例えば20番の生涯学習活動のところで、していないと回答した人の中でも、例えば17、18、19、21、27番でこういった活動をしたことがあると回答した方はこの生涯学習活動に入りますので、自動的に回答したと集計していただくことはできますか。

◎株式会社創建 分析の観点としては、もっともですけれども、集計上はやらないほうがよろしいかと思います。

◎柴田委員 そうですね。分析をされる際に、20番と重複して回答している人がいるかどうかというデータを出していただけるとわかるのかなと思いますので、よろしく願いいたします。

◎梅原企画政策課長 検討させていただきます。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

ほか何かございますか。

◎中村委員 先ほどの竹之内委員のお話と関連するんですけれども、こちらの資料40の施策の方向性の大きな題目が全部同じくほとんどが体言どめなんですね。それで、この前の起草委員会で私がお話し申し上げたんですが、一部、例えば政策20の43ページのところですが、施策の方向性として、大きな題目で1番、全市的に生涯学習活動を推進するとなつて動詞が入っています。それからその下の3番の幅広い郷土意識を喚起すると動詞が入っています。ほかの項目を見ますと、ほとんど全部が体言どめなんですね。ここは、見た感じの統一性というこ

とで、これはやはり動詞の「する」は取るべきだと思いますと起草委員会でお話し申し上げましたので、そのときに事務局に一部は直していただいたと。まだこれがちょっとしつこいようなんですけれども、「する」という動詞が残っていますので、取っていただいたほうが統一性というかすっきりする形となります。

◎**渡邊会長** 事務局からコメントありますか。

◎**中村委員** これは生涯学習のほうではありますけれども、私の起草委員会の範疇外ではありません。

◎**梅原企画政策課長** 今後、起草委員会がございますので、その中で議題にさせていただければと思います。

◎**竹之内委員** ちょっとそれは発言がおかしい。事務局としてはどっちなんですか。それは事務局案が私側に提示されてくるわけですよ。それをこっちで決めろというのはおかしい話で、提示されたものがだめと。イエスかノーかは我々がやりますけれども、ちょっとそれはやり方が違うのかなと。

◎**梅原企画政策課長** 事務局といたしましては、いずれにしても全ての施策が同じ形で一定のルールで統一されていることが必要だと思っておりますので、今、体言どめがふさわしいのではないかという御意見が多いのかなと思っております。まだちょっと事務局でも中でしっかり検討したわけではございませんが、私個人的には体言どめでそろえるのが一番いい形かなと思っております。起草委員会が始まるまでには事務局案として提示できるようにさせていただきたいと思います。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。

基本的には統一しましょう。表現があちこち違うのは格好悪いですから、統一するという方向で見直していただくということにしたいと思います。

◎**浅野委員** 柴田委員に便乗する形なんですけれども、アンケートの実質的な質問項目については、各起草委員会に提示されていると思うんですが、いわゆるフェイス項目については、全貌を我々は示されていないと思うんですね。それでリクエストなんですけれども、数が少ないけれども、多分重要な関連を持つ当事者が対象者に含まれることになると思うので、それが識別できる質問項目を入れていただきたいことです。具体的に、我々の領域でいうと子どもがいるかどうかです。その子どもがどの段階なのか。例えば就学前なのか小学校なのか中学校なのか。実は市民意向調査のほうにもこの質問項目が入っているんですが、聞き方が「同居家族に次の方はいますか」になっていて、三世代同居の場合、子どもなのか孫なのか識別できず、年齢の組み合わせで推測するほかないような形になっています。ですからこの場合、子育て世代であるのかどうか分かるようなフェイス項目を設置していただけるとありがたいかなと思います。

もう1つは障がいを持っている方なんですけど、これは多分フェイス項目で確認するのは難しいと思いますので、ここはあえて強く押しません。ほかにも当事者がわかったほうがいろいろ

な質問項目がありそうですので、できればそこに配慮してフェイス項目を作っていただければありがたいと思います。

◎株式会社創建 フェイスは今、回答者の年齢、10歳以下、それから性別、地域、それから同居家族の方に次の方はいますかということで、就学前、小学生、中学生、高校生というのがあって、65歳以上という形で設問を設定しておりますので、先ほどの浅野委員の御指摘を踏まえますと、65歳以上の方に丸をつけている方はおそらく三世帯同居。それからそこについていなくて、子どものところだけ丸がついているところは子育て世代という形で、一応の整理はできるかなと考えています。

障がい者等に関しては、そういった識別はございません。

◎浅野委員 年齢を段階区分で聞くのではなくて、実年齢を尋ねることをあえてしないのは、例えば何かプライバシー上の問題があったりするんですか。市民意向調査でも10段階に分けて聞いていますよね。これ、普通に括弧何歳で年齢を聞いてもいいのかなと思うんですけども、あえてそうしない理由は何かあるんですか。

◎梅原企画政策課長 特段そこは意図はございません。年齢で聞くことでも可能かとは考えています。

◎浅野委員 年齢で聞いて、後で10段階に分けることは容易にできるわけですから、そのほうがいいのかと私は思うんですが、いろいろ御事情がおありなのかもしれないので、強くは申し上げませんが、直接年齢を実年齢で聞いたほうが良いような気がいたします。

◎渡邊会長 どうですか。実年齢を入れてもらうというのは。

◎梅原企画政策課長 この場でそれを返答するのは難しいものですから、御意見として承らせていただきます。

◎浅野委員 承知しました。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

これで今日の議論、第9回は終わりにしたいと思いますけれども、よろしゅうございますか。では、第10回ぐらいで大体、方向が見えることを期待して、終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

(午後8時24分閉会)